

平成 28 年度 第 1 回 日本臨床工学技士連盟 理事会 議事録

日時：2016 年 2 月 20 日(土)13：10～17：00

場所：四谷メディカルキューブ大会議室

出席者：肥田泰幸、門田明正、熊谷誠、浦波智、関川智重、小林剛志、山下芳久、
五条敏和、山崎康祥、高山享、山田佳央、田村守啓、(順不同、敬称略)
オブ参加：海老原正（茨城）、柴田守（三重）、小林力（関東）
欠席：安部貴之、高橋満彦、長尾尋智、三井友成、小峠博揮、

(敬称略)

(※ 開会前に自見はなこ氏挨拶、会議中に畦元将吾氏挨拶)

I. 開会

・理事長挨拶（肥田理事長）

これより平成 28 年度第 1 回日本臨床工学技士連盟理事会を開始する。

II. 会計報告

1. 事務局報告

・平成 27 年度活動報告

- 2/10 安部晋三議員秘書と面談
- 4/10 自民党本部で面会
- 4/16 石破茂大臣と面談
- 5/10 榊屋敬語の会
- 5/21 畦元将吾出版パーティ
- 6/08 大家敏志モーニングセミナー
- 7/22 武見敬三勉強会
- 7/29 大家敏志議員秘書と面談
- 8/20 医師会自見はなこ氏推薦状交付式
- 8/28 放射線技士会と協定調印式
- 10/5 横倉医師会長、大家敏志議員と面談
- 10/28 大家敏志政経フォーラム
- 11/16 斉藤鉄夫君を励ます会
- 11/16 橋本岳セミナー
- 11/18 武見敬三セミナー
- 11/20 自由民主党岩松参事らと面談
- 11/24 高村正彦 35 周年パーティ

連盟の活動として、資料にもあるように沢山の政治家との面談を始め、自民党を中心に公明党系議員セミナーや政治パーティに連盟理事が参加することができた。

特に 4 月 16 日肥田理事長が石破茂大臣との面談が実現している。今後も継続して政界内部とパイプを太くしていく活動を継続していきたい。

引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いいたします（田村事務局長）。

・啓発活動として、

日本臨床工学会（福岡）、九州・沖縄臨床工学会、中四国臨床工学会、近畿臨床工学会、

中部臨床工学会、甲信越臨床工学会、関東臨床工学会、北海道・東北臨床工学会

上記学会や地方大会にも数多く参加することができた。平成 26 年度との違いとして、ブロック大会にブースも含め啓蒙活動できたことはとても大きかった（田村事務局長）。

1) 平成 27 年度会員数

連盟入会者数の推移として 5 月の日本臨床工学（福岡）の開催月だけで 100 名を超える入会者があった。その後一旦入会数が落ち込んだが 9 月～11 月、各協議会の大会後に入会者数が増加しており、2015 年 11 月に会員数が 1000 名を超えることができた。

都道府県別の入会者数は福岡県が群を抜いており次いで岡山県、兵庫県、愛知県となっている。今後さらに会員数増加に向け事務局として頑張っていきたい（田村事務局長）。

2) 会計報告

・収入

2015 年収入はカード、講座振替、寄付、利子と現金での入会も行ったことで、¥1,425,681 の収入となった。

・支出

全体で¥1,229,326。繰越金額が¥483,134 となります。（内借入金¥500,000）

平成 27 年度収支報告をする上で詳細が分かりやすい形になっている方が良いのではないかとの指摘をいただいた。そのため資料 1 ページは例年通りの書式、2、3 ページの収支計算書、支出内訳説明書に分けて提示させていただいた。

・収支計算書の振り分けについて関して質問・意見。

- ① 収支報告書について会員にオープンにする部分については選挙管理委員会に提出する書式に沿っていれば、余り細分化して報告する必要はないと考える。
- ② 総務省に提出する書面として活動費は組織運営費がメインとなりそれ以外の項目はない。
- ③ 収支報告の詳細を求めた理由として、会員から提示を求められた際、説明が難しいと考えた。当面、少し分かりやすくしていた方が会員の勧誘も苦勞していることあり、なるべくオープンにした方が良く考えた。
- ④ 選挙管理委員会に提出する項目として、収入に関して会費と寄付収入の項目しかない。¥50,000 を超える寄付については誰から貰った明細を添付しなければいけない。支出に関しては、経常経費・政治活動費。調査研究費・寄付交付金・その他経費の 5 項目。その内訳として経常経費は人件費、光熱水費、備品消耗品費、事務所費。政治活動費は組織活動費、選挙関係費、機関紙発行その他事業費となり、組織活動費とひと括りのため明細提示の必要がなく曖昧になっている。¥50,000 を超える支出についても明細を添付するがそれ以外に関して制約はない。しかし、今後は選挙管理委員会に提出する収支報告と理事会（会員）に提示する収支報告書を作成していきたいと考えている。

2. 監査報告(高山監事)

- ・監査報告 2015 年適正な運営と判断する。
- ・理事会にて収支報告が承認された。

Ⅲ 議案

第1号議案

・2016年度活動目標設定

日本臨床工学技士連盟活動方針

【組織】会員増を目指すと同時に組織構築を形成し連盟として安定した基盤を創る。

【活動】自見はなこ氏と睦元将吾氏の参院選当選に向けて全力を尽くす。

政治連盟の目標：厚労省や政党内に臨床工学技士の資質向上について検討する委員会を設置する。

※厚生労働副大臣省との面談。

真下副会長、肥田理事長にて厚労省内に委員会設置を要望した（2016年2月）。

副大臣から担当部局に指示、日臨工と日程調整をしている（肥田理事長）。

・2016年活動目標の継続が承認された。

第2号議案

1. 組織改革

現在、執行理事1人を理事長、1人副理事長としている。

1) 執行理事1人を理事長、2人を副理事長体制に変更したい。

・理由：ここ数年行政や政党へ出向く機会が多い状況であり、地域的な負担軽減と金銭的圧縮のため、関東の方々にご尽力いただきたい。

・小林剛志理事を副理事長として推薦したい。

2) 執行理事に含まれない形で相談役を設けたい。

・理由：日臨工と連盟との連携強化

・小林力オブサーバーを相談役として推薦したい。

3) 会計責任者：関川総務部長、会計責任者代行：田村事務局長に設定したい。

4) 関東ブロック上野理事退任に伴い、関東ブロック理事に東京女子医大病院の安部貴之氏を推薦いただいた。

5) 東北北海道から熊谷氏と浦波氏が理事として推薦いただいた。

6) 中部ブロックから五条氏が理事として推薦いただいた。

・組織改革の議案が理事会で承認された。

第3号議案

1. 会費改定

昨年夏、会員非会員向けにWEB上でアンケートを実施した。

集計は途中だが、大多数の方が¥3,000にすることに賛成する意見であった。

会計はひっ迫状態にあり、現行¥2,000から¥3,000に変更を承認いただきたい。

・会費について¥3,000とすることが承認された（カード決済はH29年度から）。

2. 平成28年度予算案

平成27年の会費収入¥1,415,608、寄付は¥10,000、平成27年度の収入は¥1,425,608。

平成27年度の支出¥1,294,560。

平成 28 年度収入 ¥4,000,000。

会員費 ¥3,000、会員数 1,200 名と想定した場合、収入 ¥3,600,000。

寄付収入 ¥10,000、イベント参加収入 ¥300,000 (100 名)。

支出 ¥4,000,000

(経常経費 ¥200,000、政治活動 ¥310,000、寄付 (交付金) ¥200,000、その他経費 ¥500,000)。

・平成 28 年度予算案は承認された。

IV. 部門報告

1. 総務・事務局 (田村事務局長)

1) 連盟総会の設置計画

総会について現段階では準備不足もあり次回、京都の理事会までに事務局で資料など準備してご提示したい。

2) 日本臨床工学会 (京都) の計画

- ・5月14日(土)13:00よりハートピア京都で理事会を開催する予定。
- ・ブース設置も福岡同様に行う。ブース担当者は2名、タイムスケジュール当番体制で対応する(今年はブースを不在にしない)。
- ・近畿ブロック担当者、各協議会窓口担当者にも是非ご協力をいただきたい。

2. 渉外 (小林副理事長)

- ・神奈川県としても連盟の活動に協力するため、私と小林相談役が出席する交通費や参加費に関して神奈川県技士会で負担させていただいている(¥100,000程度)。
- ・政治パーティやセミナーには2名で参加する。見える形(写真)でFacebookやSNSなどでアピール(情報発信)することが重要である。

例として、神奈川県知事との面談時、上記手法を行った翌日、秘書より連絡があり今年の関東臨床工学会は神奈川県も協力を惜しまない、すでに関係部署へは連絡してある。顔を売る、秘書との環境を整え政治家とのパイプを作ることが近道と感じた。今後は2名体制で参加し、写真を撮影し情報発信していくことを活動目標としたい。

3. 選対(肥田理事長代行)

- ・全国連盟窓口担当者は47都道府県にいる。支部という形態をとっていないため名目上でも支部を創設いただきたい。
- ・政治団体支部には選挙管理委員会に届け出を行う場合と届け出を行わずに支部を奈名乗る2通りがある。どちらも任意団体。前者は政治資金規正報告書の提出が必要、後者は不要。
- ・国政選挙には全国区と地方の選挙区があり、地方区の候補者は対象の選挙区との連携が必要で対象の選挙区での政治活動が必要なため、窓口となる支部が必要となる。全国区でも支部にお願いする形となる。
- ・では、支部では何をやるか。現時点においては自ら積極的に活動する必要はない。当会からの立候補者はいないので受け身で良いと思う。
- ・47都道府県(支部)に対して三択方式でどの候補者を応援するか色分けをして行きたいと考えている。
- ・自見氏、畦元氏ともに全国区のためどちらにも支援した証拠残す意味においても必要と考えている。

4. 広報（田村事務局長代行）

- ・連盟年間計画表よりメールマガジン、HP 更新、連盟新聞発行報告。

5. 学修（山崎理事）

- ・5月、日本臨床工学会（京都）に合わせて勉強会を計画している。

ハートピア京都大会議室（定員 200 名）

参加費 一般¥5000、日臨工会員¥1,000、連盟会員¥1,000。

収支見込 ¥350,000 収入合計¥550,000（一般 100 名、会員 50 名）。

政治資金パーティとしているが、参加者が集まるか懸念しているが審議いただきたい。

一般とは医療機器メーカを対象としている。

メイン会場からの交通便の問題、医療機器メーカを対象としているが講演テーマで社内コンプライアンスの領収が可能か微妙である。

現段階では時間的に問題がある。

企業（医療メーカ）をターゲットとした政治資金パーティが目的であれば関東で行うのが利便性や集客も見込めるのではないか。

また、関東であれば最初の挨拶に政治家を呼ぶことも可能なので華やかであり連盟をアピールする絶好の機会となる。

- ・結果、京都での講演の企画自体を見送ることとなった。

※理事会は計画通りハートピア京都大会議室（定員 200 名）で行う。

6. 若者（山田理事）

- ・昨年、連盟としての活動はできていない。
- ・日本臨床工学会（京都）ではブース担当者をブロック分けして日程を決めたい。
- ・10月開催の九州臨床工学会において野田毅代議士にお話しいただくことになっている（総会と大会）。

7. 組織（小峠理事→田村事務局長）

- ・報告事項なし。

第4号議案（その他）

- ・SmartPit の運用について（田村事務局長）

コンビニ決済に通し番号が必要なことから、同時に会員証を発行したい。コンビニ決済の際にその通し番号を使用する。カード決済の対象者は単なる会員番号となる。会員証作成の費用に10万円強必要。作製に当たり期日を要するため実運用は5～6月頃になる予定。

- ・理事掲示板の運用について（肥田理事長）

記事に対するコメントはメールに返信せず、掲示板にログインして記事に対するコメントとしてぶら下げるようにして欲しい。後の履歴として整理しやすいため。

- ・会員用ピンバッジについて（田村事務局長）

当年度用として新デザインの検討も考えたが、運転資金もひっ迫しているため今年度は見送る。現デザインのまま不足分を補う形の数量を作成する。

- ・次回理事会 5月14日（土）ハートピア京都大会議室 詳細は後日。

以上